



ANCのみなさんが 広域公園で花の植替え

暑さも和らいできた9月。

広島広域公園の花壇の花の植え替えに、約5,000ポットがANC（ANAイスクラブ）の皆さんによって行われました。

12年目を迎えるこの花壇整備ですが、植え替えは年に4回。その季節にあった花を、8ヶ所の花壇に植えるのですが、5,000ポットの花を真っ直ぐに揃えて植えるのは、「言うのは易し、行方は難し」で、なかなかの技術を要する作業です。

でもANCの皆さんは手慣れたもの。オリジナルで製作した木枠を使って、午前中で作業を終わらせました。

今回の花は、枝垂れ桜の下にナデシコ、第二競技場付近にはペンタステニスコートにはジニアを植えました。どの花も色とりどりで、公園のどこかに必ず、サンフレッチェのチーマカラー・紫色だけの花を植えた花壇を作っているのが、広島広域公園のこだわりです。

今回は投てき場に、メドーセージという紫の花を植えました。

この花は、セージというハーブの一種で、近くに寄るととても良い香りがします。

カーブを意識したわけではありませんが、テニスコートの駐車場には、このメドーセージの仲間で、真っ赤な花をつけるチェリーセージが植えられました。

新たなサッカースタジアムの建設が進む中、サンフレッチェの活躍がこの広島広域公園で観られるのもあと数年です。地域と一緒に育った施設として、これからも、大塚の美しい景観の一助になればいいですね。



A. CITYの行事予定



10月 9日（土） 有価資源ごみ回収日
10月18日（日） 自治会定例役員会
10月23日（土） 有価資源ごみ回収日

10月25日（日） ヒルズ管理組合定期総会
10月25日（日） H&T管理組合定期総会
11月 7日（日） A. CITY防災訓練
11月 7日（日） A. CITY大抽選会

敬老会の記念品配布

令和2年度に引き続き、今年も開催が見送られた敬老祝賀会ですが、自治会ではA・CITYオリジナルの記念品を製作し、自治会員世帯の70歳以上の方に配布いたしました。

記念品はサコッシュ（ポシェット）とフレスタ商品券。去年好評だった、A・CITYオリジナルトートバックとお揃いのデザインです。

受け取った方々から、「使いやすい」「散歩にちょうどいい」というお声をいただき、役員としては嬉しい限り。

ささやかですが、皆さまのご長寿と益々のご健勝を祈念して、お祝いの宴に替えさせていただきます。

これからも明るく、元気いっぱいのおめでものご活躍を期待しております。



有価資源ごみ収集 雑紙類の回収再開！

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、収集中断となっていた雑紙類（ざつかみ）類ですが、令和3年10月1日から収集再開となりました。今後は有価資源として活用できますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◎有価資源ごみ

月2回／第2・第4土曜日

○回収されるもの

- ・新聞・チラシ
- ・アルミ缶・スチール缶・一斗缶・鍋などの金属類
- ・雑誌・本・空箱・牛乳パックなどの雑紙類（ハガキ以上の大きさ）



×回収されないもの

- ・段ボール
- ・ビン
- ・ペットボトル
- ・布類



マムシやスズメバチに ご注意ください

過ごしやすい気候になってきましたが、この頃から活動が盛んになってくるのが、マムシとスズメバチです。マムシは、湿った溝や、河川の草むらを好みます。A・CITYでは、裏山と隣接している建物付近の側溝や、パレット調整池の付近で毎年、目撃・捕獲されています。

小型の蛇なのですが、毒性が強いのが特徴です。三角の尖った頭をもち、茶色い〇印の中に点を一つ打ったような柄が連続して続く、いわゆる「銭形模様」の蛇なので、比較的に見分けやすいと思います。

見かけたら近寄らないことがいちばんですが、万が一咬まれたら、慌てずに医療機関を受診してください。

咬まれたことに動転して騒いだり、大きく手足を動かすと、毒素の循環を促してしまうことになりかねません。マムシの毒素は非常に強い痛みを引き起こしますが、急激に体内に吸収されることはありませんので、救急車を呼ぶ、マムシの抗血清の準備がある近隣の病院（伊藤内科医院など）を受診するなど、落ち着いた対応をすることが肝心です。



一方のスズメバチですが、8月から10月にかけて繁殖のピークを迎えるため、普段より攻撃性が増してきます。よく見かけるのは、キイロスズメバチという小型のスズメバチですが、市街地から山間部までと生息範囲が広く、攻撃性が非常に高いスズメバチです。何匹が見かけたら、近くに巣がある可能性が高いので、用心が必要です。もし刺されたら、すぐ病院を受診しましょう。2回刺されると危ない（命に関わる）と、言われることが多いスズメバチですが、回数はあまり関係ありません。

アナフィラキシー・ショックには個人差が大きく、1回目でもショック症状（めまい・吐き気・頭痛など）が出る人もいれば、毎年刺されても平気な人もいます。とはいえ、刺されたら、すぐ直近の内科を受診しましょう。症状に合わせた飲み薬や、点滴等で適切な処置をして、安静に過ごすことをおすすめします。

身近な毒性生物にも、正しい知識で対応できるよう、心がけましょう。



大塚を知ろう！古代山陽道編

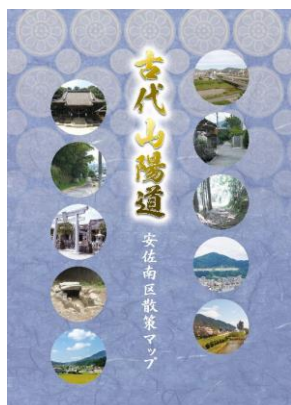
広島県には、府中市・安芸郡府中町という市町があります。

旧国名で安芸と備後に属しています。『府中』は奈良時代に国府と呼ばれた国の出先機関（現在の県庁）が所在していた地域です。『府』のつく地名は多くあり、国の機関があったことを示しています。府中市は備後国府跡、府中町は下岡田官衙遺跡が国指定史跡となっています。

今では、九州への移動は主に新幹線・山陽自動車道を使用していますが、古代にも都から大宰府までの官道「山陽道」が設置されていました。広島県内は、岡山県井原市から府中市を抜けて東広島市・広島市・岩国へのルートが通説です。山陽道には、原則として約16 km毎に「駅家」が設置されていました。駅家は、役人などが移動するための馬や食事・宿泊を提供する施設（現代のサービスエリア）です。先の下岡田官衙遺跡は、安芸駅家の可能性が高い官衙遺跡となります。安芸駅家から伴部・大町・種篋（うへら）・濃畛（ののお）・遠管（おくだ）の駅がありますが、駅場所は特定できていません。想定されている地域として、伴部は（安佐南区伴）、大町（佐



古代山陽道駅概略図
広島県史 原始古代掲載図を使用



伯区利松)、種篋（廿日市市平良）、濃畛（廿日市市大野町）、遠管（大竹市小方）の説があります。このルートはアストラムラインの終点から石内バイパスになります。おそらく旧道が古代山陽道に沿って作られたと考えられます。

安佐南区古市公民館のホームページから「古代山陽道 安佐南区散策マップ」をダウンロードできます。想定ルートも掲載されているので散策してみてもいかがでしょうか。

◆自治会・管理組合協同開催◆

防災訓練

日程 令和3年11月7日（日）

場所 オンライン参加

大ホール（対象者のみ）
（事前に案内配布）

今回は、ご自宅で参加できるオンライン訓練を行います。ぜひご参加ください。

◆文化祭代替え企画◆ （自治会員対象）

オンライン大抽選会

日程 令和3年11月7日（日）

場所 大ホール（抽選会場）

管理センターロビー（掲示）

豪華賞品をご用意しています！

詳細は、後日配布される抽選券付チラシにてご確認ください。



賛助会員より

メリィハウスよりお知らせ

メリィホスピタル／

回復期リハビリテーション病棟増床／

2021年10月より、リハビリ専門の病棟が50床から102床に増床となりました。リハビリ療法士数に関してもグループ全体で100名以上を超え、回復期リハビリテーション病棟の病床数・リハビリ療法士数ともに県内トップクラスの規模となりました。

これからも地域の皆様に貢献できる病院を目指していきますのでよりしくお願い申し上げます。

医療法人社団八千代会メリィホスピタル



災害時 ペットとの避難を考える

私は2020年度に防災士試験に合格した、防災士1年生です。

災害が多発する昨今、防災士の受験をしたことは自身の防災意識を高め、自分の住んでいる地域をあらためて見直すきっかけとなりました。

ところが、新型コロナウイルスの蔓延でことごとく勉強会や行事が中止となり、何一つ活動ができていないことにもどかしさを感じています。そんな中、防災士として何をしなければいいのか…。

A.C.T.Yには、たくさんの「人とたくさん」の「ペット」が暮らしています。

人だけでなく、ペットの安全確保についても普段から考えておかなければならないと感じています。

まず十分なフードや水のほか、常備薬も用意して慌てないようにする必要があります。

フードの量の目安としては、少なくとも5日分、できれば7日以上が望ましいとされています。

とくに療法食等が必要とするペットは更に長期間分の用意が必要です。また基本的なしつけ（アイコンタクト・座る・伏せる・呼び戻し）をして備えておくことも重要です。

東日本大震災の経験から環境省はペットと同行避難を推奨しています。

「同行避難」とは、災害発生時に自宅に留まることが危険と判断した際、ペットを連れて行う「避難行動」のことを意味します。

いざ避難するという時には、キャリーケースやケージに入ること慣れさせて同行避難ができるようにしておくことが重要です。

そして避難所においては、自治体の指示に従い、ルールを守り、他の避難者に迷惑が掛からないようにしなくてはいいけません。とくに動物が苦手な方やアレルギーをお持ちの方には特別な配慮が必要となります。

いすれにしても避難生活は人もペットも大きなストレスとなる可能性があり、普段から十分な準備と、しつけや健康管理は災害時の備えの基本となります。

以下、環境省が出しているリーフレット「飼い主がいま、やるべきことは？」から抜粋します。

● ワクチン接種や寄生虫の駆除など、健康面のチェックを。

● 最低限のしつけや、ケージに慣らす訓練、マイクロチップなどによる所有明示を。

● 住宅の災害対策やフード、トイレシートなどのペットの避難セットの準備を。

● ペットの受け入れ対応を含め、事前に避難場所の確認を。

また環境省は「人とペットの災害対策ガイドライン 災害への備えチェックリスト」をホームページに掲載しています。参考にしてみてください。

地域の防災士として、災害時にペットと一緒に行動することについて、さらに知識を得て発信できればと思います。

もちろん災害が起きないことが一番良いのですが、いざという時、慌てないために備えておきましょう。

(防災士/アリーナ住区・畑野智子)



↑スマホで読み込むと環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」の小冊子がダウンロードできるサイトにつながります。

(不定期連載)
管理組合だより

密着！管理組合が行く！ライト版



令和3年9月26日(日)に管理組合理事会が開催されました。

議題は、8月以降の大雨による災害で被害を受けた住区の修繕に関する報告と、修繕業者からの提案、また来期予算案の検討が行われました。

今月から各管理組合の定期総会が順次開催されます。ぜひご協力ください。

